

夜間定時制高校を守ろう

街の人々に声を届けつつける

小山台高校定時制の廃校に反対する会



横山尚子・よこやま・なほこ／東京・日本語教師



小林早苗・おばやし・さなえ／東京・保護者

2015年、東京都教育委員会が、雪谷(大田区)、江北(足立区)、小山台(品川区)、立川(立川市)の4校の都立夜間定時制高校を「閉課程」にすると発表しました。

PTAや同窓会、教職員など、地域の関係者による「廃校に反対する会」がつけられ、連携して、存続を求める運動が始まりました。集会の開催、都議会・都教委への請願署名、ノーベル賞を受賞した大村智さんをはじめ研究者・文化人の共

同声明(2016年)、4146人の「緊急アピール」チラシの配布(2017年)など、旺盛な運動が続いています。

雪谷は2016年、江北は2018年に募集停止が決定されてしまいました。今年9月末の段階で、小山台と立川の募集停止の時期はまだ示されていません。

最初は雪谷の、今は小山台の夜間定時制存続を求めて活動する横山尚子さんと小林早苗さんにお話を聞きました。

聞き手…編集部(笹本)

——お二人がこの運動にかかわるようになったきっかけは、どんなことでしたか？

横山…2015年に小山台の定時制廃校反対の集会有り、誘われて参加したのがきっかけです。外国につながる生徒の学習支援にかかわっておられる大学の先生のお話を聞いて「つぶしてはダメですよ」と思い、地元の雪谷も危ないと聞いて、かわるようになりました。

最初は一人で、時間のあるときに駅前立ったり、関係のありそうな集会の会場の前で、プラカードを掲げて署名を集めたりしていました。

小林…たまたま私が、そこを通りかかったんですね(笑)。

一人で何かやっている人がいるなと思って話を聞いたら、定時制高校の話。ちょうど私の子が中学3年だったので、「これは大変!」と思い、署名用紙を預かったのが始まりです。何枚か集めて渡しに行つて、それでおしまいのもりだったのですが、私立高校の退職教員の方とつながって、大田区で「雪谷の会」をつくることになり、4校の「会」の連絡会にも行くようになりました。雪谷が募集停止になつてしまつた後は、小山台の



定時制高校への進学を呼びかけるチラシ

廃校に反対するとりくみを続けています。
——街の人々の反応は、どんな感じでしたか？

横山・今はコロナ禍なので、駅前には立っていませんが、定時制のことについては空気があったかいです。ジュースやケーキの差し入れをいただいたり、少しの時間でも手伝ってくださる方がいたりして。やったぶんだけわかってもらえ、いい反応が返ってくるという感じです。

小林・横山さんのアイディアと行動力がすごい。都教委が「1学年の生徒数10人未満が2年続いたら募集停止」と言うので、定時制に入学する人を増やそうと、

チラシをつくって区
の掲示板に貼らせて
もらったり、中学校
に送ったり、関係の
ありそうなところを
まわったりしていま
す。
——どんなところ
をまわるのですか？
横山・小山台には外
国とつながる生徒が
たくさん在籍してい
て、多文化共生の教

育に熱心な学校もあるので、読み仮名をつけた「やさしい日本語」バージョンのチラシをつくりました。高校から自転車通える範囲のお店を検索して、片っ端から40軒ぐらいまわりました。日本ムスリム協会とか、ペルシャ絨毯のお店とか、南米関連の食材を扱うお店とか。

そこで働いている方やお客さんが目にして、定時制に応募してもらえたかどうかはわかりませんが、困ったときの連絡先として、少しでもつながりがつくれたらいいのかなと思います。先日、バンブルラデッシュ出身のカレー屋さんから連絡があつて、今、日本語を教えに行っています。お子さんの学校から来る「お知らせ」は本当に難しく、いろいろな相談にも乗っています。別の方からは、お子さんを日本に呼びたいということで、定時制への入学の仕方について質問がありました。

——定時制はいろいろな意味で子ども・若者に教育を保障する「セーフティネット」の役割を果たしているのですね。横山・私の周りにも引きこもりの青年がいるので、「普通に高校に入学して3年で卒業」という人だけではないということとは、すごくよくわかります。いつでも

入れて、いろんな人と出会えて、自分に合わせて学べる場。今は直接関係なくても、気がついた誰かがそれを守っておかなくなったら、知らないうちになくなってしまふ。そんなことにならないようにと思つて続けています。

——今年は、ネット署名が2万筆以上集まったと聞きました。

小林・昨年初めてやったときは、そんなに集まりませんでした。今年は、ぜんぜん知らない人がコメントつけてツイート、リツイートしてくださつて、何十回もまわってきました。地道に続けていくことで、これまで関心のなかった人にも情報が届くようになったのかなと思います。

最終的に、紙の署名と合わせて2万9196筆を都教委に提出しました。

横山・それでも、まだまだ必要な人情報が届いていないと思います。せつかくある学校だから、たとえ募集停止が決まってしまうとしても、本当に学校が閉まってしまふまでは、必要な人が入るようにお手伝いしていきたいと思つています。
——地域の学校を守るって、こういうことなんだと、とても心強く思いました。ありがとうございます。